

浄心寺だより

発行

浄心寺門信徒会

郵便番号714-0081

笠岡市笠岡2065

電話(0865)62-2623

FAX(0865)62-2595

振替01260-9-13760

<http://joshinji.suki-ari.net/>



和やかに
新春を寿ぎました

一月十六日

ごあんない

春季彼岸会・永代経法要

三月二十二日(金) 十三時半より

講師 芳井町光栄寺 佐藤知水師

草木も芽生え、新しい年度を迎えたこの時期、あらためて自分の人生について考えてみることも大切ではないでしょうか。人生は自分自身で作り上げるもので誰にも代わってはもらえません。つまり、こと自分の人生についていえば自分が専門家にならなければならぬのです。なのにその努力をしようとしたこともない、という人はいませんか。

自分にあうことだけを周りから探そうとする態度ではなく、今の条件の中で自分にあうところを探してみれば、今まで気づかなかった世界に気づくとともに、知らなかった自分を知ることできます。自分が氣に入る経験だけが素晴らしいのではなく、むしろ望まない経験こそ、その対処の仕方によっては、自分の人生をいかに導けるのです。

仏さまの教えを聞くとは、いつ、どんな困難に追い込まれても絶望せず、もう一つの光の道があることに気づく心を育てられることです。

鷹谷俊昭著『月ごとのことば』転載

「み法を味わって」(三)

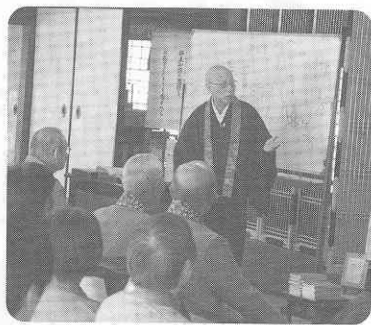
自分にあう

報恩講法要

12月1日

十二月一日、午後一時半より報恩講法要が勤まりました。報恩講とは親鸞聖人の御命日をご縁に、そのご恩に報いて勤める法要です。法座前には仏教婦人会の調理によるお斎(とき)をいただきました。

赤飯、シイタケやひりょうずなどの煮物、大根のおひたしに、豆腐と油揚げの味



降誕会のご案内

五月十一日(土)に宗祖降誕会法要が勤まります。

今年も時間を早め十三時より、恒例の仏教婦人会コーラス「コーラル清風」によるミニコンサートに続き、プロの音楽家数名によるチャリティコンサートを開催します。その後、恒例の落語を楽しみます。この法座ではお供えや入場料はいただきますせん。どうぞお誘い合わされご参加ください。

噌汁などからなる精進料理を、聚園でおいしくいただきました。なお、小豆は親鸞聖人の好物だったそうです。

おつとめでは備中里組の僧侶である法中(ほっちゅう)がたが内陣出勤され、正信偈をお勤めしました。最後には前住職が親鸞聖人の伝記『御伝鈔』を拝読。

ご講師は三原市大和町の教専寺住職、福岡義朝師。先生とは継職法要の記念法話以来のご縁です。

正信偈に説かれる浄土真宗のいわれや、阿弥陀さまの願いについて、様々な身近な話をまじえて、「なるほど、なるほど」とうなずけるお話をいただきました。

例年に比べやや暖かい日となり、多くの方にお参りいただきました。

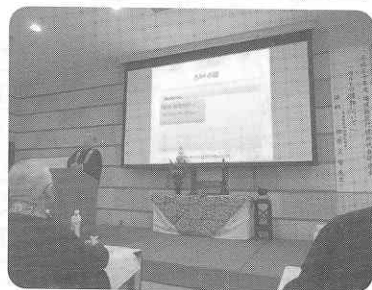
降誕会寄席

今年も笑福亭松喬一門のどなたかにお越しいただきます。本格的な話芸をお楽しみください。

チャリティコンサート

ピアノ、琴、ソプラノ歌手などによるコンサートです。募金を利用して発展途上国へ楽器を贈ることを目的としています。これまで東南アジア、南米、アフリカなどの子供たちに、カステネット、鍵盤ハーモニカなどが贈られました。

備後教区総代会研修会 「カルトの諸相について」



十一月五日に備後教区の門徒総代会研修会が、高梁市の高梁総合文化会館で開催されました。当寺からは藤井祐三、内海義郎、戸田眞左子、長安圭一の総代各氏と住職が参加しました。

講師は兵庫教区の光輪寺、棚原正智先生で、「カルトの諸相について」との講題。先生は日本脱カルト協会理事をされています。

カルトとは狂信的集団のことですが、特に宗教カルト教団についてお話しいただきました。

まずは新入大学生勧誘の具体的な方法を説明いただきました。教団幹部は、二月ごろに不動産屋で新入生が入居する下宿の情報を入力し、三月三十一日に部屋の灯りでの新入生の存在を確認、部屋を訪ね、「〇〇大学から来たのですが、最近迷惑勧誘が多いので気をつけてください」と世間話をし、学生の個人情報を入力して帰ります。そ

して入学後、別の人物が勧誘します。すでに学生の興味等は知っているので話は弾みます。そして、五百円での自炊の食事会に誘います。入学したてで友人もない時期にうれしいものであり、また無料でないのも安心感を与えます。それ以外はひたすらみんなで遊ぶそうです。一か月もすると学生は大学で友達のグループに入れず孤立するようになります。なぜなら常にサークルに入りびたり、クラスでは人間関係を築けずにいたからです。するとますます居場所がなくなり、サークルに入り浸るようになります。こうなるといよいよ教団としての本性が見え始め、研修やセミナーなどが始まります。

先生によれば、こうしたカルト教団にいったん入信すると、脱会するのはほぼ不可能とのことでした。だからこそ、入信を未然に防ぐことが何より大切だとおっしゃいました。家庭の中で子供たちに、親や祖父母が宗教的な話題を出すことも大切だとおっしゃいました。その他もろもろ、脱会の現場の生の声を交えての具体的なお話を伺うことができました。

十時半から十五時まで、未知の世界の実態を知った、ある意味ショックな一日でした。

平成31年度 行事計画

◎春季彼岸会、永代経	3月22日(金) 13時30分	芳井町・光栄寺 佐藤知水 師
◎花まつり	4月29日(月) 昭和の日	
◎総 会	5月11日(土) 11時30分	
◎降 誕 会 仏教讃歌と上方落語	13時	女声コーラス同好会 コール清風 チャリティコンサート 笑福亭一門 よりどなたか
◎初 参 式	5月12日(日) 10時	希望者とその家族
◎研修旅行	6月12日(水)	神戸別院参拝など
◎法宝物 虫ぼし法座	7月17日(水) 13時30分	三原市大和町・徳正寺 徳正俊平 師
◎サマースクール	7月22日(月)・23日(火)	教区内スタッフ3、4名
◎盂蘭盆会	8月15日(木) 10時・14時	住職、前住職
◎秋季彼岸会、永代経	9月25日(水) 13時30分	三原市大和町・浄楽寺 栗原一乗 師
◎地区委員会	12月7日(土) 11時	
◎報 恩 講	13時30分	神辺町・光行寺 荻屋光影 師
◎除夜会、修正会	12月31日(火)・元旦	
◎新春のつどい	新元号2年1月中旬	
◎春季彼岸会	新元号2年3月	日時、講師未定
あさのおつとめ	通年毎朝6時	
◇やさしい仏教講座 親鸞さまのおしえ	【56】4/9(火) 【57】6/5(水) 【58】8/24(土) 【59】10/9(水) 【60】12/11(水) 毎回 19時30分 解説：住職	
◇念仏のつどい	毎月15日 13時30分より(但し1月、8月はお休み)	
※「浄心寺だより」発刊	127号(5月) 128号(7月) 129号(11月) 130号(3月)	
仏教婦人会	総会 3/10 例会 各種研修会 研修旅行 料理教室 福祉施設慰問 清掃奉仕など 5/12(日)初参式	
文化箏同好会	毎月第1金曜日 13時30分	指導：平田澄子 先生
女声コーラス コール清風	毎月第2土曜日 9時30分	指導：平田澄子 先生
本山関係	千鳥が淵全戦死者追悼法要 など	
備後教区	各種研修会 定例法座(毎月11日) 報恩講(11/30) 総代研修会	
備中里組	同朋研修協議会 キッズサン 第8期連続研修会 など	

門信徒の広場



新春のつどい

恒例の新春のつどいが一月十六日十二時より、聚園にて開催されました。参加者は四十四名。

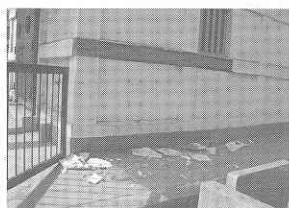
地区委員さん交替

鴨方駅前団地東 (前) 田中英毅さん
(新) 松嶋 隆さん
大磯中、西 (前) 広瀬好子さん
(新) 大石節子さん
(前) 谷水三治さん
(新) 北川嗣雄さん
吉浜南

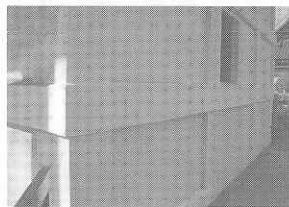
よろしくお願いいたします。

経蔵の壁の修復

昨秋の台風ではく落した経蔵の白壁が修復されました。



↓修復後 ↑修復前



讃仏偈をお勤めしたのち、平田澄子先生ご指導の文化等同好会の箏の弾き初めがありました。榊平敬子仏婦会長による乾杯の音頭で会食が始まったところで、再び箏の演奏を三曲楽しみました。早朝より準備した、初春らしいやさしい調べが響きました。

その後、カラオケや余興を楽しみました。カラオケ自慢の方々の歌声に、上杉佐世子さんの舞、入江女性陣による七福神の「福の種」まきなど…。そして恒例の福引きで宴を閉じました。

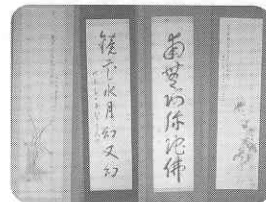
最後にはすっかり酔いも回り、楽しく解散。温かい日中で、心地よい千鳥足の帰り道となりました。

「ありがとう」

大菊 住谷大志さん



「寄贈」



川辺屋地区の末本正道さんより、白印の軸などを寄贈いただきました。正道さんの祖父の金三郎さんが白印に弟子入りしていたご縁で何点か所蔵されていたとのことでした。名号軸のほか、蘭の描かれた軸など四点と、花の描かれた色紙、展覧会の目録『白印画帖』、著書『幻の殻を破る』をいただきました。

ありがとうございました。

初参式

5月12日(日)
10時より



どうぞお申込みください。

花まつり

四月二十九日(月)

お釈迦さまの誕生をお祝いして

*甘茶をどうぞ

還浄(げんじょう)

(敬称略)

佐藤 武男

12月20日ご往生 享年84歳

向吉浜地区委員として御尊父・輝男さんに引き続き昭和45年以来、地区のお世話をしてくださいました。

また、ご法座にも奥様ご同伴でお参りされ、また除夜会には、ご令息さんを引き連れて参加してくださいました。

藤井 秀明	11	7	生江浜
野田 清子	11	11	岡山市
津田 シズエ	11	17	西大島
井上 義成	11	22	春日井市
高橋 昇	11	24	中央町
長安 幸蔵	11	25	横島
藤井 敏子	12	16	生江浜
水原 則人	12	17	入江
久保 清子	12	27	玉野市
高草 瞳	1	6	十一番町
三宅 昭子	1	17	所沢市
鈴木 信一	1	17	倉敷市
前田 香代子	1	30	札幌市
渡邊 誠	2	4	福山市
森崎 光	2	9	里庄町
畠山 祐汰	2	12	美の浜
小川 俊男	2	15	富岡

研修旅行

「浄心寺のルーツを訪ねて」

斎藤 裕

十一月十二日、総勢三十八名でバスに乗り、一路福山市沼隈町へ向けて出発。

これから訪問する沼隈町「光照寺」「宝伝院」について早速住職から「研修の栞」を頂き、予備知識として説明を受けました。

鎌倉時代後期に、親鸞聖人の直弟子の流れを汲む明光上人が鎌倉より下向し、沼隈の地へ光照寺を建立。拠点とし中国地方に真宗の教えを広めた。明光上人が晩年、孫を連れて沼隈山南市場に「宝伝院」を建立。この宝伝院が浄心寺第六世明傳の出所であること、などなど。(＊明傳：浄心寺だより第109号法宝物その8参照)

バスを降りて細い路を辿り、宝伝院に到着。貴重なお寺の系図(系譜)や寺宝の数々と併せて、浄心寺とのつながりについても分かり易く説明がありました。寺宝を直に見ることが出来て、歴史に興味のある方には有益なお話でした。

帰りの車中で、浄心寺にも同様な法宝物がありますと住職より。道の駅「アリストぬまぐま」で

一休み(もう、どつさりとお土産ゲットの方もおられました。)

車窓から山の中腹に壮大な屋根が垣間見える古刹光照寺へ参拝。急な石段を登り、落葉を踏みしめて境内を散策しながらその昔に思いを馳せました。今は福山にお寺を移して無人になっています。

楽しいな昼食は老舗割烹旅館「阿伏兎別館」。海の幸満載の懐石御膳、お酒も付いて賑やかに、ゆったりとお互いに談笑しながらあらがたくいただきました。

本日最後の旅程、蒲鉾で有名な「阿藻珍味」の運営するお店では「鯛せんべい作り」に挑戦。火焙りのコツがわからずコンロの上で丸くなって焦げてしまいます。女性の方は上手く伸ばして流石と眺めて、また焦がしてしまいました。皆さま、お土産もどつさりと買い揃えて、今日のご縁を楽しく語り合いながら帰路につきました。

浄心寺の

ルーツを探るお話を受けて我が家のルーツはと、仏壇の過去帳を開いてみたこととです。

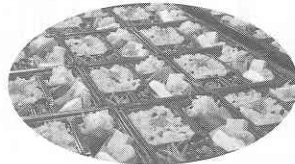


仏婦コーナー

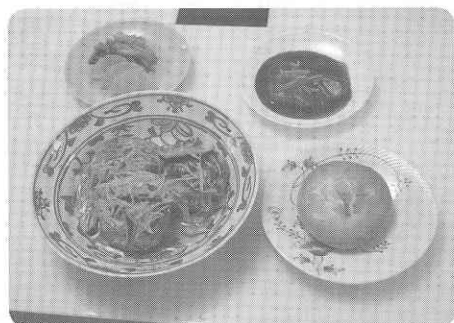
アソカの園

報恩講お斎調製

十二月一日、報恩講のお斎調製に会員二十二名が奉仕。赤飯、煮しめ、きんぴらごぼう等を今回からはベテラン勢からバトンを渡され奮闘。みごと合格点がいただけでしょうか。

ヨガ
しませんか

毎週金曜日十時半から十一時半まで、聚園(和室)にてヨガ教室を開いています。敷物としてヨガマットかバスタオルをお持ちください。門信徒以外の方も歓迎ですので、お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。



★メニュー

- ・ブリのみそ煮ゆお風味
- ・野菜ハンバーグ
- ・さつまいもあんパン 他

第21回料理教室

十一月九日榊平洋子先生による楽しい料理教室が開かれました。今回は十一名が参加しました。



仏具おみがき

一年間の本堂の仏具の汚れを落とす「おみがき」が、十一月五日行われました。

この日は婦人会の方

々総勢十五名で、九時より、取り外された仏具のおみがきを行いました。一つ一つの部品を流れ作業できれいに磨き、仏具も新品のような輝きを取り戻しました。

浄土真宗

教えと
そのあゆみ

私たちの宗門(1)

宗門の名前は?

現在では「浄土真宗本願寺派」というのが、宗門(本願寺教団とか宗派ともいいます)の正式の名称です。

「浄土真宗」は親鸞聖人が自ら名づけられた宗名であり、本願寺派は他の真宗各派との区別をあらわすための派名になります。昔は

代や明治時代にもいろいろいきさつがあつて、先人の苦勞のあつたことを考えるべきです。

わたしたちは、その「宗門」の一人として生まれ、生活し、み教えを聞き人びとにみ教えをつたえ、そして念仏者となるのです。

「宗門」は誰のもの、他人の物ではなく、私たち自身のものなのです。なお、本願寺派以外の主要な各派は次の通りです。

浄心寺の法宝物

その23

「親鸞聖人お徳度図」



軸装

たて180cm
よこ90cm
制作年代不詳

親鸞聖人がお徳度なされたのは養和元年(一一八一)の春、聖人九歳の時、慈円慈鎮和尚のもとで、洛東、栗田口の青蓮院で行われました。

この画軸はそのときの様子が描かれていますが、全面が煤で黒ずんでおり鮮明ではありませんが、薄ぼんやりと聖人や慈円和尚のお姿が見てとれます。

虫干し法座にはこの画軸も展示されますので、ご拝観ください。

真宗大谷派
しんしゅうおたには

本山・真宗本願(東本願寺) 京都市

真宗仏光寺派
しんしゅうぶくわうじは

本山・仏光寺 京都市

真宗興正派
しんしゅうこうしやうは

本山・興正寺 京都市

真宗高田派
しんしゅうたかたは

本山・専修寺 津市

真宗木辺派
しんしゅうきべは

本山・錦織寺 野洲市

真宗出雲路派
しんしゅういずもじは

本山・毫根寺 武生市

真宗山元派
しんしゅうやまもとには

本山・証誠寺 鯖江市

真宗三門徒派
しんしゅうさんもんとは

本山・専照寺 福井市

真宗誠照寺派
しんしゅうじやうしやうは

本山・誠照寺 鯖江市

これらの諸派はその歴史的事情によつて、おのおのが分立している、その教義とか信仰の面において違いがあるわけではありません。この点是他宗における分派とは多少事情の異なることです。

これらの十の派は「真宗教団連合」を組織して、相互に得度、教師、転属、転派などについて協定を結び、連絡提携をしながら浄土真宗の教えをひろめるため力をつくしています。

編集後記

門前に待ち望んだ「こぶし」の花が咲きました。今年度の新春の集い、報恩講、念仏の集い等々のご報告。春季彼岸会・永代経法要、新年度の行事計画、研修旅行計画をお知らせする早春号第126号をお届けします。本年度も御聴聞に励まれ念仏の輪を広げて頂きますようお願い致します。(編集員)

◎薩摩かくれ念仏はお休みし次号に掲載します

研修旅行

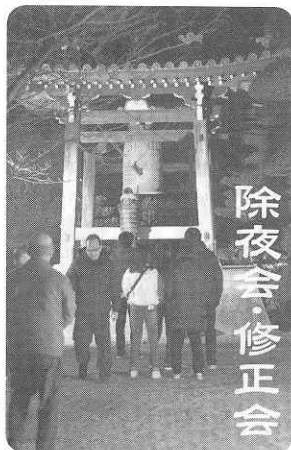
6月12日(水)

神戸別院
ペイクルーズ

参加費 8,500円

ぜひご参加下さい!

5月31日(金) 締切



除夜会・修正会